

2023年(現在)

**魅力**

- ・“五山五丘三溪一流”構想の豊かな公園緑地等(みなみ野の丘公園、栃谷戸公園など)。
- ・身近な自然、農的環境、兵衛川の桜並木、四季の花の彩。
- ・整った都市基盤。安心感のある広い歩道。
- ・良好な住環境のある戸建住宅。
- ・商業施設、教育施設等の公共施設が立地し、利便性が高い。
- ・東京工科大学ほか、業務、企業の研究所等が立地。
- ・地域活動が盛ん。
- ・災害リスクが比較的低い。

**課題**

(ア) 高齢化や人口減少に備える

- ・市内のニュータウンの中では比較的新しいまちであるが、将来の高齢化や人口減少に備えるまちづくりが必要。

(イ) コミュニティの醸成

- ・町会の加入率が下がるなど、コミュニティが希薄になるおそれ。
- ・地域の情報共有、助け合いのためには、コミュニティを醸成していく必要がある。
- ・年代や立場によって考えていることが異なる。このギャップを埋めるつながりをつくる仕組みが必要。

(ウ) 地域を引き継ぐまちづくりの担い手の確保

- ・将来の高齢化、さらには人口減少を見据え、若者と世代交代をする仕組みが必要。
- ・大学、地元企業の立地がある一方で、地域とのつながりが希薄。大学や地元企業との連携を深めつつ、まちづくりの担い手の確保が必要。

(エ) 地域資源の有効活用

- ・地域の魅力を維持し、高めていくためには、地域を取り巻く豊かな自然環境、公共施設や商業施設、大学・企業立地など、地域資源のさらなる有効活用が必要。

2040年に向けて ※取組は、2023～2028年の5年間で開始

将来ビジョン

(仮置き案) 集まって、つながって風の生まれるまち  
～人や自然が循環する八王子みなみ野～

アクションプランの柱(案)

① みんなが集える場をつくる

- ・誰でも安心して、気軽に集える居場所づくりに取り組みます。
- ・地域の居場所を発掘し、共有しながら、ふれあい、子育て、健康づくり、習いごとなど、多彩な居場所をつくり出します。

② みんなが楽しくつながる機会をつくる

- ・誰もが楽しく、仲良くなれる機会づくりに取り組みます。
- ・豊かな地域資源を活かして取り組むことで、みなみ野を知ってもらえる機会にもなります。

③ 地域魅力を広く発信・共有する

- ・みんなの集いの場、つながる機会づくりを通じて、地域の魅力を広く発信・共有していきます。
- ・アピール力の強いプロジェクトにチャレンジします。

④ 若者の力で、次代につなぐ

- ・積極的に、大学生などの若者に参加してもらえるまちづくりに取り組みます。
- ・参加を通じて、地域の魅力、活動を次の世代につなぐ人が育つ、好循環のまちづくりを目指します。

取組の候補(案)

○私の居場所づくり

- ・住民が思い思いに過ごせる、多世代の憩いの場づくり。
- ・カフェ、コミュニティビジネス、子どもの居場所、発表会(部活、吹奏楽など)、“選べる”憩い。
- ・公共施設や公園、店先・個人宅など、まちの様々なスペースの活用。居場所の発掘・空間をシェア。
- ・地元行事の充実(内容、参加者など)、祭りの復活など、既存活動を有効活用。
- ・居場所のネットワーク化。

○みなみ野のみどころツーリズム

- ・みなみ野の見どころをめぐる散策ツアーの企画・運営。
- ・いろいろなテーマに応じたモデルコース・マップづくり。
- ・自然観察、写真コンテスト、俳句大会、農業とのふれあい、健康、ダイエットなど、様々な学び・体験付。
- ・スペシャリストを交えた、地域の魅力発信の機会にもなる。
- ・新たなみどころの発掘・共有、さらには、つくることにもチャレンジ。

○発信拠点 みなみ野

- ・さまざまな地域情報の集約化、情報発信。
- ・モデルコース・マップの発信、ツーリズム告知や、居場所のシェア、居場所イベントのPRにも活用。
- ・ホームページ、SNSなど、いま時のツールの活用。

○集え、若者

- ・地域活動への若者参加の促進。
- ・若者と地域がwin-winになるための仕掛け、仕組みづくり。
- ・各取組で実装
- ・東京工科大学や地元企業との連携。

市のテーマ

カーボンニュートラル

地域防災

公共施設マネジメント

検討の視点

DX